

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2004.9.4 呉市中央7-7-13 TEL21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

●おはなし
「熱いお茶と冷たいジュース」

●ゲーム

◎熱いお茶と冷たいジュース

台風一過、ようやく涼しくなってきましたが、今年の夏は暑かったですねえ。暑いと水分補給が大切ですが、皆さんは何を飲まれますか？冷たい麦茶ですか？

昔の日本人、私たちの先達は「暑いときには熱いお茶を」という知恵を伝えてくれていますね。冷たいジュースは口当たりがよいのですが、ジュースを飲むとどんどんノドが乾いてきて収拾がつかなくなりますよね。熱いお茶は暑いときにはちょっとつらいのですが、不思議なことに、みごとにノドの渇きがおさまりますね。



京都龍安寺にある銭形の手水鉢の蹲踞（つくばい）は、中央の口の形と合わせて「吾唯足知（われただたるをしる）」と読む。水戸黄門でおなじみの徳川光圀が寄進してと言われている。

www.asahi.co.jp/rekishi/04-05-13/01.htm

前回写真撮り忘れました。たった一枚撮った写真の誰でしょう？



実はこの夏、私の知人が、ある水分補給に適しているという飲料水がぶ飲みして、急性糖尿病で入院してしまいました（本人の家族がそう言っていました）。親しい知人ですので遠慮なく書くのですが、糖分があることぐらい知らなかったのかなあと首をひねりました。

人間の煩惱の基本は3つ、広げていうと108つ。もっと広げれば8万4千（はちまんしせん）といえます。基本の3つについてですが、自分にとって「プラス」と思うものは、どんどん引き寄せたい、もっともっと欲しい、という煩惱を「貪欲（とんよく）＝むさぼり」といいます。逆に自分にとって「マイナス」

と感じるものはできるだけ遠ざけたい、排除したい、という煩惱を「瞋恚（しんに）＝いかり」といいます。そして、これら2つの心の根っこにあるのが「愚痴（ぐち）＝おろかさ」といい、真実・道理に暗いことをいいます。「痴」とは「病いだれ」に「知」で、「知が病んでいる」、これは知がないのではなくて、知はあるけど病んだ知のことです。私たち現代人は、知があっても病んだ知だというわけです。

道理に暗い（冷たいジュースでは一時的にしか渇きが止められない・熱いお茶に限るという「知」がない）と、どんどん口当たりのよい「冷たいジュース」をのんでしまい、どうにも止められなくなって、結局大変なことになるんだなあ、とその仕組みに気づくとともに、仏さまの教えというのは、その場限りの気休めではなくて「熱いお茶を飲みなさい」というような「末通った人生の智慧」を教えてくださいなあと感じました。

真宗では「お守り」や「祈祷・神だのみ」などしないというのをご存知でしょうか？ 私たちの先輩は実際にそうして生きてきましたので、特に安芸地方などは家に「神棚」がほとんどないのです（他宗の盛んな地域ではあるのが普通のようなです）。先達がそのようなものなしに力強く生きてきたということの意味は、結局のところ「冷たいジュースだよ」よ教えてくださいなあと感じました。

次は、**9月19日（日）9時～**です。

その次は10月2日（土）9時からです。